

# 「第2回製剤機械技術研究会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 2002 Nakai Award of the Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員長 松田 芳久

Yoshihisa MATSUDA

The Chair of the Selection Committee for the Nakai Award

会員の皆様には既にご承知のことと思いますが、本研究会では創立10周年を機に、昨年から標記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕揚しておりますが、今回も昨年12月14日を締切日として会報で受賞候補者を募集いたしましたところ、今回の候補者のご推薦は残念ながら1件に止まりました。この候補者につきまして、選考委員会において提出された推薦書及び関係資料を慎重かつ厳正に審査しました結果、下記のように受賞者として池田 勝氏ほか4氏を決定し、3月5日に会長に報告いたしました。また、この結果は去る4月15日に開催された本会総会においても報告いたしましたが、授賞式は今回から例年10月に開催予定の本研究会の研究大会において行うこととし、併せて受賞講演をしていただくことになっております。

なお、今回の応募状況を踏まえて、次回からは推薦書の形式をもっと簡略化し、気軽に推薦していただけるよう、全面的に改めることいたしました。会員の皆様には、お近くのお知り合いで、本賞の受賞に相応しい業績をあげておられる方がおられましたら、ぜひ積極的にご推薦いただきますよう、お願いいたします。詳細につきましては、会報をご覧ください。事務局へもお尋ねください。

## 記

- ・受賞者：池田 勝、草井 章、塩荊 隆、山本 真一、(故)岡田 隆三の各氏 (いずれも三共株式会社)
- ・受賞テーマ：二層凍結乾燥製剤の開発
- ・授賞理由：候補者は、不安定でかつ配合変化が予測される2つの薬物の物性の違いに着目し、従来なかった新しい発想に基づいて凍結乾燥技術の問題解決を図り、工業化にも成功している。また、本研究は製品を安定生産する技術を確保することにおいても多大の業績をあげているといえる。さらに、本法は凍結乾燥注射剤の製造において広範囲にわたる応用の可能性をもっており、このような複雑な系における完全自動化の成功は、装置及びプロセスの開発および管理を含めて、製剤工学的観点からもきわめて意義深い。本研究は、新規性、実用性及び製剤の生産工程における貢献度のいずれにおいても受賞の要件を満たしており、「仲井賞」授賞に十分に値するものである。